

地区職業奉仕委員会 模擬卓話 要約

西三河中分区 ガバナー補佐 桐渕利次

2014年12月8日

「職業奉仕の魅力と可能性」

今年度ガバナー補佐として、地区職業奉仕委員会所属の桐渕でございます。本日はガバナー補佐訪問の報告をまじえて、「職業奉仕の魅力と可能性」について考えてみたいと思います。

ガバナー補佐訪問では「ロータリーの基本」を含めた4項目をお話しました。職業奉仕はロータリーの基本であり、その歴史と深く関わっています。

①奉仕理念の確立；「親睦と互惠」を目的として発展したロータリーが「親睦から奉仕へ」と転換し、「決議 23-34」に奉仕理念が銘記され、2つのモットーとなりました。シェルドンの一次資料より、彼の奉仕理念確立への功績をみるることができます。しかし、シェルドンの奉仕理念は変容し、職業奉仕は四大奉仕の一つとなり、第2モットー廃止運動、「決議 23-34」削除・復活などの受難の道を経て、現在に至ります。

②職業奉仕の新たな提案；この奉仕理念は第二次世界大戦後、RI 職業奉仕委員会廃止の長い沈黙の期間を経て、新たな職業奉仕の提案が示されました。職業奉仕理念をロータリーが育成・支援すること、クラブがその実例を示すことなどが推奨されました。

③目的・行動規範・基本理念；実践上の基本となるものとして、RI「職業奉仕入門」と、「ロータリーの目的」「ロータリーの行動規範」「四つのテスト」の3掲示を示しました。

次に、「RI 会長のテーマとガバナー方針」の中で、地区の唯一目的とするもの、地区内指導者の継続性と RI 役員としてのガバナーの役割、ガバナー補佐と地区委員会、ガバナーの考え方と RI の提案である DLP、CLP について触れました。

実際にガバナー補佐訪問を実施した西三河中分区 9RC の CLP 導入、奉仕の資金、職業分布と職業奉仕の実践状況について報告しました。

ガバナー補佐訪問では「ロータリーの魅力と可能性」について問題提起をし、これを IM のテーマとしています。その魅力の一つである奉仕理念と職業奉仕について述べ、RI 理事会の最新情報による職業奉仕変更点を示しました。

ガバナー補佐の HP に記録を残していますので、お役立ていただけましたら幸いです。